

Requiem

モーツァルト交響曲・全曲演奏会
特別演奏会

平成から新しい時代へ一祈りをこめておくります。

Mozart レクイエム ニ短調 KV626

◆ソプラノ 澤江 衣里

◆メゾ・ソプラノ 山下 牧子

◆テノール 大槻 孝志

◆バス・バリトン 北川 辰彦

◆合唱 アマデウス・コア・マツモト

Clarinet Concerto

クラリネット協奏曲 イ長調 KV622

◆クラリネット独奏 山田 哲男

◆芸術監督・指揮 横島 勝人

◆管弦楽 松本モーツァルト・オーケストラ

2019年 5月5日(日・祝)

開演 / 14:00 (開場 / 13:30)

松本市音楽文化ホール(メインホール)



入場料：2,000円
(全席自由)

主催 / モーツァルト交響曲 全曲演奏会 実行委員会・中信合唱連盟

共催 / 松本市音楽文化ホール

特別協賛 / (株)市民タイムス

協賛 / 宇奈月モーツァルト音楽祭、株式会社 井上、株式会社 五幸、株式会社 アイネット、林歯科医院、ハシバテクノス株式会社、アルピコ交通株式会社、社会医療法人抱生会 丸の内病院、杉山外科医院、イムラ歯科医院、唐沢内科小児科医院、山田歯科医院、株式会社 井筒ワイン、創作木工作具の大竹工房株式会社 ミュージックプラザ、やきとり・酒処 丸楽、社会福祉法人てまり、介護老人福祉施設 サルビア、有料老人ホーム エリシオン開智、野村法律事務所株式会社 東京インテリア家具 松本店、増田写真機店、社会福祉法人 ハーモニー、住宅型有料老人ホーム ふくろうの家 横田、うしやまヴァイオリンスクール 複合福祉施設 セントラル・ビオス、馬肉料亭 新三よし、介護付有料老人ホームエルコート咲楽(さくら)、高宮音楽教室、島立音楽教室、豊科音楽教室(敬称略)

後援 / 長野県・長野県教育委員会・松本市・松本市教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市・安曇野市教育委員会
信濃毎日新聞社・SBC信越放送・NHK長野放送局・長野エフエム放送・あづみ野エフエム放送・(公財)八十二文化財団

チケット取扱い / 井上プレイガイド、クレモナ、(株)ミュージックプラザ・オグチ、平安堂あづみ野店

*お問い合わせ：090-2531-6081 (牛山正博) URL <http://m-mozart-orc.org/>



©井村重人

指揮：横島 勝人

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セグド交響楽団主催指揮セミナーにて、コリウス・カルマー、エルヴィン・アッセル各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。1998年にはオランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれ、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーン・キムンストラ・交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエステル・ハーザー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ「天地創造」を指揮する。2003年にはブラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、ブラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトⅠ、Ⅱ、Ⅲにおいてアシスタント及び合唱指揮を務める。2005年7月、ドイツライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ「短調ミサ」を、ゲヴァントハウスでベートーヴェン「第九」を指揮。2006年9月、10月にはウィーンとブラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮、絶賛を博した。2008年3月、長野県松本市においてモーツァルトの交響曲全52曲を10年かけて演奏する「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」が結成され芸術監督に就任。2018年10月、23回目の演奏会をもって全52曲を終了。松本モーツァルト・オーケストラを指揮し好評を博した。富山県・宇奈月モーツァルト音楽祭芸術監督。

PROFILE



ソプラノ：澤江 衣里

国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。声楽を佐藤峰子、永井和子の両氏に師事。日本学術振興会より奨学金を得て、ロンドンに短期留学。2006年よりバッハ・コレギウム・ジャパンのソリストおよび声

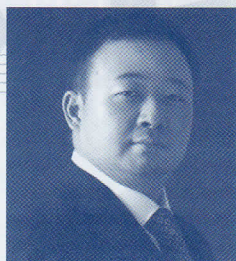
楽メンバーとして活躍。紀尾井ホール室内管弦楽団との《口短調ミサ曲》(トレヴァー・ビノック指揮)、第29回丹沢音楽祭での《ドイツ・レクイエム》(山田和樹指揮)、その他《カルミナ・ブрана》や《メサイア》など多数の作品でソプラノソロを務める。しなやかで温かみのある歌声を生かした歌唱で様々なレパートリーを持つ。NHKテレビ番組『名曲アルバム』でのバッハのアリアの演奏や、NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』等に出演し、好評を得た。第79回日本音楽コンクール声楽部門第二位入賞。第11回東京音楽コンクール二位入賞(最高位)。東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。



メゾ・ソプラノ：山下 牧子

広島大学を卒業後、東京藝術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール声楽部門1位。第72・73回日本音楽コンクール共に3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。2002年には日生劇場オペラ教室「カルメン」タイトルロール、2004年から、新国立

劇場にて、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」、ベルク「ルル」、プッチーニ「蝶々夫人」、ビゼー「カルメン」、シュトラウス「サロメ」、ツィンマーマン「軍人たち」、ヴェルディ「椿姫」「リゴレット」、コルンゴルド「死の都」、松村禎三「沈黙」、池辺晋一郎「鹿鳴館」、モーツァルト「魔笛」等に出演。2005年には二期会の公演にも活躍の場を広げ、ヴェルディ「椿姫」、ヘンデル「ジュリアス・シーザー」、モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」「イドメネオ」「ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」」に出演。宗教曲や歌曲にも意欲的に取り組んでおり、国内主要オーケストラとベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」等を共演。二期会会員。



テノール：大槻 孝志

東京芸術大学卒業、同大学院独唱科修了。ドイツ及びイタリアへ留学。東京二期会『エフゲニー・オネーギン』レンスキーで躍脚光を浴び、新国立劇場では『こうもり』アルフレード『愛の妙薬』ネモリーノ『夕鶴』とひょうなど、これまでに20演目以上の作品に携わる。SKF

松本・日生劇場・びわ湖・神奈川オペラに於いても、数多くの公演に出演。N響「第九」では急遽外国人歌手の代役で登場し絶賛され、近年では都響「第九」、仙台フィル「エリヤ」、ウィーン楽友協会合唱団モーツァルト「レクイエム」などに出演し、宗教曲のソリストとしても高い評価を受け、その琴線に触れる力強い美声と堅実な役作りや歌唱は小澤征爾を始め国内外の指揮者やオケから多くの信頼を得ている。近年では、2017年3月小澤征爾音楽塾『カルメン』レメンダード役、同年11月および2018年1月、日生劇場オペラ『ルサルカ』王子役で出演。2019年1月オペラ『スキトオリメ』スキトオリメ役、3月小澤征爾音楽塾『カルメン』レメンダード役、6月二期会オペラ『サロメ』ナラポート役で出演予定。東邦音楽大学特任准教授/愛知県立芸術大学講師。IL DEVUメンバー。二期会会員。



バス・バリトン：北川 辰彦

国立音楽大学卒業。同大学院修了。新国立劇場オペラ研修修了。文化庁及び、ローム・ミュージックファンデーションの奨学生として、イタリアに留学。

ジョゼッペ・ヴェスチーニ国際コンクールにて外国人特別賞を受賞し、シチリア・トラパニ音楽祭「コジ・ファン・トゥッテ」にドン・アルフォンソ役で出演。『フィガロの結婚』『ドン・ジョバンニ』などのタイトルロールの他、小澤征爾、佐渡裕、大友直人、ペーター・コンヴィチュニーと著名な指揮者・演出家と多くのオペラやコンサートで共演。東宝ミュージカル『レ・ミゼラブル』などのミュージカルにも出演。BSフジ「レシビ・アン」のMCを務めた他、オペラ界のトップスター男性ユニット「The JADE」のメンバーとして、ラジオ・テレビにも出演しCDもリリース。多岐にわたり活躍している。二期会会員。



クラリネット：山田 哲男

宮崎県出身。幼少期より音楽に親しみ、ほぼ独学で音楽を学んだ。ポップスバンドやジャズバンドのベース奏者兼キーボード奏者として活動するかたわら、渡辺福一氏の指導のもとクラリネットを学んだ。渡辺福一ク

ラリネット四重奏団および延岡ウィンドアンサンブルの活動を経て、松本室内合奏団クラリネット奏者となり、現在もそのポジションにある。また、クラリネットのほかに、中世ルネサンスから現代におよぶレパートリーでの合唱指揮や協奏曲のオーケストラ指揮者としても活躍している。塩尻市在住。

合唱：アマデウス・コア・マツモト

今回の演奏会のために中信合唱連盟で組織した特別編成合唱団。中信合唱連盟は1969年に発足し中信地区で活動する14団体が構成される。2016年に松本市音楽文化ホール開館30周年を記念した「松本バッハ祝祭アンサンブル」にてマニフィカトを、2018年には音楽文化ホールオルガン設置30周年記念コンサートにて「私が、もういちど、生まれ変わる日。」を演奏し、高い評価を受ける。

管弦楽：松本モーツァルト・オーケストラ

2008年1月、モーツァルトの交響曲全52曲を演奏する為に結成された。同年3月2日、第1回モーツァルト交響曲全曲演奏会を開催。以降、ほぼ年2回の演奏会開催を重ね、2018年10月の第23回演奏会でモーツァルト交響曲全曲演奏会としてのシリーズを完結。全ての演奏会を、芸術監督の横島勝人氏がタクトを振り、彼の提唱によりモーツァルト生存当時、そうであったであろうオーケストラ編成規模(第1ヴァイオリン奏者が6名以下)で演奏され、小編成ながら質の高い演奏は、毎回好評を博した。毎回の演奏者は、予め希望された登録メンバーによるエントリー制で決めている。その後もこれまで通り、小編成での演奏スタイルと楽曲をメンバー相互で研究し演奏会に臨む姿勢を踏襲しつつ、年2回の演奏会を中心に活動を継続する予定。